

日本語添削プログラム

説明事項

【趣旨】

大学院に在籍する留学生が研究上で執筆する日本語の表現性を高めることで、研究活動を活性化することを目的とする。

【日本語添削プログラムの概要】

対象者	添削の対象	添削の上限（毎年）	添削申込締切
修士1年	学会発表、投稿論文	10万字	締切なし
修士2年	学会発表、投稿論文、修士論文	10万字	修士論文は、提出締切の1か月前まで
博士1年	学会発表、投稿論文、研究論文Ⅰ	20万字	締切なし
博士2年	学会発表、投稿論文、研究論文Ⅱ	20万字	締切なし
博士3年	学会発表、投稿論文、博士論文	30万字	締切なし

◆ 対象者

大学院に在籍する留学生で、修士課程、および、博士課程在籍者を対象とする。

※ 休学者は対象としない。半年間在籍の場合は、在籍期間中は添削の上限内で申請が可能。

◆ 添削の対象

学会発表や雑誌投稿論文、修士論文・研究論文Ⅰ・Ⅱ、博士論文の全部、または、一部。

※ 授業のレポート等、添削内容が成績判定に影響するものは添削対象外とする。

◆ 添削の上限

分量の上限は、以下の通り。分量の上限内であれば何度でも利用することができる。

修士課程1年の場合、A4の標準書式で、文字数ベースで10万字までとする。

修士課程2年の場合、A4の標準書式で、文字数ベースで10万字までとする。

博士課程1年の場合、A4の標準書式で、文字数ベースで20万字までとする。

博士課程2年の場合、A4の標準書式で、文字数ベースで20万字までとする。

博士課程3年の場合、A4の標準書式で、文字数ベースで30万字までとする。

※ 博士課程1、2年については研究論文I、IIを出すまで毎年20万字まで添削可能。

※ 博士課程3年は、博士論文を提出するまで毎年30万字まで添削可能。

◆ 受付時期

修士論文については、修士論文提出締切日1ヶ月前まで随時受け付ける。学会発表、投稿論文、研究論文I・II、博士論文については、特に期限を限定せず、随時受け付ける。ただし、申込書は添削希望開始日の一週間前までに提出すること。申請から返却までおおよそ2週間を想定（分量による）。返却日については申請時に確認すること。

【指導教員の許諾】

申請には指導教員の許可が必要で、申請書に指導教員から署名押印を受けなければならない。

【注意事項】

- ① 添削を行うのは論文の日本語表現の完成度を高めることが目的であり、論文の内容および構成について添削するものではない。申請された論文の学位論文としての評価について、添削内容および添削者には一切責任はなく、申請者自身が責任を持つこととする。
- ② 添削指導の担当者は国際交流室で決める。
- ③ 提出時の論文（添削を行う前）と添削後の論文、ならびに、添削者による報告書を指導教員に国際交流室から提出する。
- ④ 添削指導には、添削者との事前相談（希望者のみ）と、添削終了後の指導と説明のための面談（修士課程在籍者は1時間、博士課程在籍者は2時間）を含む。
- ⑤ 添削指導の結果を利用者がどう活用するかに制限はない。
- ⑥ 添削担当者は、預かった論文（の一部）を添削指導以外に使用することはない。結果の報告も、国際交流室と指導教員にのみ行い、論文内容および添削内容を口外することはない。